

未来館 ニュース

47

vol.

CONTENTS

- 県民企画応援事業
- センター図書室より
- 県外避難者応援団体紹介
- 宿泊室利用のご案内



未来館ネットワークフォーラム開催

平成25年9月7日(土)・8日(日)の2日間

第1日:男女共同参画推進関連団体・機関による意見交換・交流、認知症介護セミナーなど

第2日:シンボルイベント「写真家大石芳野さん講演」、県民参加企画など

詳細はホームページ等で随時アップいたします。お楽しみに!

未来館フェスティバルは今年度、男女共同参画をさらに推進する個人・団体等の

ネットワークを強化し、震災からの復興過程にある福島県の現状を県内外に発信するため、

「未来館ネットワークフォーラム」と名称を変えて開催します。



県民企画応援事業

◎福島県男女共生センターでは、福島県民を中心に構成された団体が行う男女共同参画に関する自主的な講座やワークショップ等を募集し、企画・広報などについて協力・支援を行う「男女共生を進めるための県民企画応援事業」を平成23年4月から実施しています。今回は平成24年度以降に採択された事業を紹介します。

●平成24年度 県民企画応援事業採択事業報告

1 ホモフォビアとトランスフォビアに反対する国際デー(IDAHO)メッセージ展

《団体名》
福島県IDAHO実行委員会



◎内容／国際反ホモフォビアの日に合わせて、ウェブサイト「やっば愛ダホ!idaho-net」に全国より寄せられた10代・20代から集まった“多様な性にYES”のメッセージを展示。

◎日程／平成24年5月～11月

◎会場／福島県男女共生センター

◎事業の成果・効果／性の多様性、特にLGBT(性同一性障害や同性愛等)について県民に知っていただき、また、性的指向や性別自認を隠して生活することを強いられている福島県内在住のLGBTに対し、「ひとりではない」ことを知ってもらうきっかけとなった。特に若年層に対して、本年のIDAHOグローバルテーマ「学校におけるホモフォビア、トランスフォビア」について啓発できた。

3 マッチング事業(巡回就職相談会)

《団体名》福島県看護協会

3



◎内容／就業支援(看護職)のための相談会を実施。

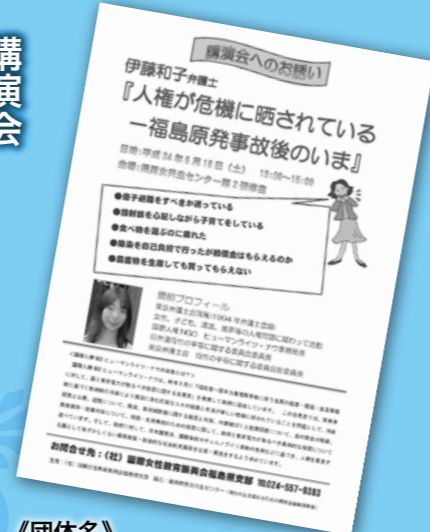
◎日程／平成24年5月～平成25年3月まで

◎会場／二本松、いわき(2会場)、南相馬、郡山の全5会場

◎事業の成果・効果／全46会場で68名の相談者が訪れ、31名の方が就業につながった。

2 「人権が危機に晒されている」福島原発事故のいまー講演会

2



《団体名》
(一社)国際女性教育振興会福島県支部

◎内容／原発事故に伴い女性が直面している悩み、不安を人権という視点から法的に解決する糸口を探るための講演会。

◎講師／伊藤和子さん
(弁護士、NGOヒューマンライツ・ナウ事務局長)

◎日程／平成24年5月19日

◎会場／福島県男女共生センター

◎参加費／無料

◎事業の成果・効果／国民が生活をするうえで大切な人権が法によって守られている。という基本的なことを知ってもらえた点で効果があった。

4 被災地で生活する女性たちへの支援活動

《団体名》
特定非営利活動法人
全国女性シェルターネット

4



◎内容／被災女性のエンパワーメントやDV防止、ワーク・ライフ・バランスの推進のための「ママ友さろん」実施。

◎日程／平成24年6月22日

◎会場／福島県男女共生センター

◎参加費／材料、資料代実費

◎事業の成果・効果／参加者は少なかったが、その分手作りの作品を作りながら、震災当時や現在の生活の話をじっくり聞くことができた。

5 「無料個別相談会・手仕事ワークショップ・おしゃべり茶話会」

5

ふくしま女性支援センター事業



《団体名》
NPO法人 しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島

◎内容／ふくしま女性支援センターを拠点とし、避難生活を送る女性を総合的に支援するための個別相談や避難女性と避難先女性の交流事業(ワークショップ、おしゃべり茶話会)を全22回実施。

◎日程／平成24年6月～平成25年3月

◎会場／福島県男女共生センター

◎参加費／茶話会：無料、ワークショップ：実費

◎事業の成果・効果／ふくしま女性支援センター利用者も増えた。また、小さいお子さん連れの方の参加もあり、年齢層が幅広くってきた。地域の中で気兼ねなく立ち寄ることができる場所として認知されてきた。

6 被災者対応DV・性暴力被害者支援員養成講座

6



《団体名》特定非営利活動法人
全国女性シェルターネット

◎内容／東日本大震災の被災地で、DV・性暴力被害者支援にあたる支援者を養成するための研修。

◎日程／平成25年2月5日～11日

◎会場／福島県男女共生センター

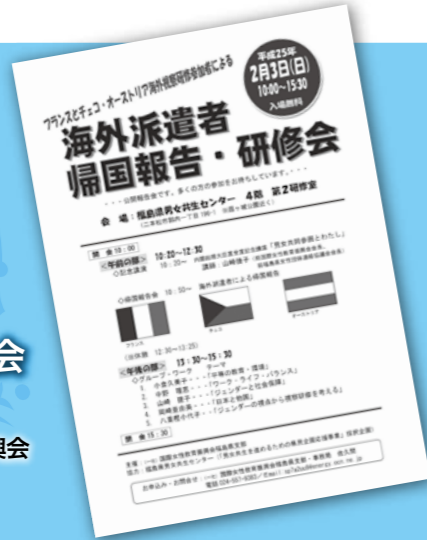
◎参加費／3000円(被災者、学生等は無料)

◎事業の成果・効果／女性支援にかかわる現場のスタッフ等、福島県内外から多くの受講者があり、今後の被災地女性支援の拡充に期待を持つことができた。密度の濃い講義内容およびワークショップであったが、受講生は全員集中して課題に取り組み、DV・性暴力被害者支援の基礎的理論とスキルを学ぶことができた。

7

平成24年度
海外派遣者
帰国報告・研修会

《団体名》
(一社)国際女性教育振興会
福島県支部



- ◎内容／平成24年度グローバルサポーター事業女性リーダーコース派遣者と自主参加者による帰国報告及び、派遣者を囲んだ参加型のグループワークを実施。
- ◎日程／平成24年2月3日
- ◎会場／福島県男女共生センター
- ◎参加費／無料
- ◎事業の成果・効果／発表をするだけでなく、参加型のグループワークを行うことで内容を深め合い、参加者の理解度が深まった。

NPO法人
ウィメンズスペースふくしま
設立記念講演会

8



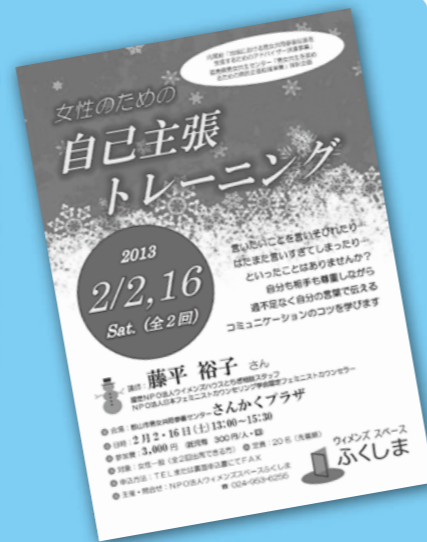
《団体名》
NPO法人ウィメンズスペースふくしま

- ◎内容／女性支援事業を先駆的に行ってきた専門家による講演会。
- ◎講師／井上摩耶子さん
(日本フェミニストカウンセリング学会代表理事)
- ◎日程／平成25年1月19日
- ◎会場／郡山市男女共同参画センター
- ◎参加費／無料
- ◎事業の成果・効果／特に震災後、福島で生きることを選択した女性にとって、心のよりどころという言葉が被災者の心にやさしく染み入っていたとの感想が、参加者から多く聞かれた。

※採択団体からは、とても利用しやすい事業であるため継続を希望する声や貴重な広報ツールとしてこれからも活用したいなどの御意見をいただき、団体活動の有効な支援になっています。

9

女性のための
自己主張トレーニング
※内閣府アドバイザー派遣事業



《団体名》NPO法人ウィメンズスペースふくしま

- ◎内容／対等な立場でコミュニケーションをとる方法を身につけ、男女共同参画を推進する人材となることを目的とし、受講後、グループ形成を促した。
- ◎講師／藤平裕子さん(日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー)
- ◎日程／平成25年2月2日・16日
- ◎会場／郡山市男女共同参画センター
- ◎参加費／1000円(資料代)
- ◎事業の成果・効果／全2回を通じて段階を踏んで体験的な学習プログラムであったため参加者の自己開示や交流が進み、他者優先や自己抑制に傾きがちな女性達が自他ともに尊重しながら伝えたいことを伝えるコミュニケーション術が身についた。

講座

「女性のための
自己尊重トレーニング」

1

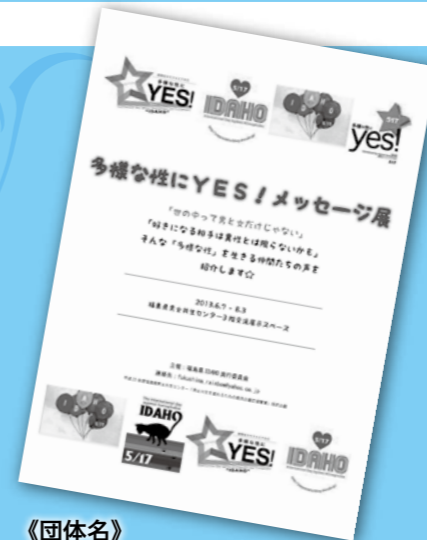


《団体名》
NPO法人ウィメンズスペースふくしま

- ◎内容／自分らしい生き方を取り戻すことによって、安心して地域や家庭生活を送る力をつけ、特に震災後の不安定な社会の中で子育てや家庭生活等に不安や悩みを持つ女性たちにとっては、他所では得難いエンパワメントの機会となるよう、自分を肯定的に捉えなおすため各種ワークを交えた体験型学習を実施。
- ◎対象者／福島県の女性25名
- ◎日程／平成25年5月～7月(全6回)
- ◎会場／郡山市男女共同参画センター
- ◎参加費／9,000円(全6回)

3

多様な性にYES!
メッセージ展



《団体名》
福島県IDAHO実行委員会

- ◎内容／ウェブサイト「やっぱ愛ダホ!idaho-net」に全国より寄せられたメッセージを展示し、多様な性(性同一性障害や同性愛等)について知識を深め、対象者の心に直接訴えかける。また、当事者に限らず、その家族からも集まったメッセージを展示。
- ◎日程／平成25年6月7日～8月3日
- ◎会場／福島県男女共生センター

2

被災者対応DV・
性暴力被害者支援員
養成講座
フォローアップ研修事業

《団体名》
特定非営利活動法人
全国女性シェルターネットワーク

- ◎内容／被災地及び全国規模で、DV・性暴力被害に対する適切な支援スキルをもった支援員を養成するため、本講座を受講した参加者を対象として、フォローアップ研修を実施。
- ◎対象者／被災者対応DV・性暴力被害者支援員養成講座受講者
- ◎日程／平成25年7月14・15日
- ◎会場／福島県男女共生センター
- ◎参加費／無料

4

「被災女性のための応援セミナー
『被災地で生きるinふくしま』」
団体名／NPO法人ウィメンズスペースふくしま
日程／平成25年9月～11月
会場／郡山市男女共同参画センター

5

「大坂忠 写真展『自主夜間中学 札幌遠友塾』」
団体名／福島に公立夜間中学をつくる会
日程／平成25年7月29日～8月1日
会場／コラッセふくしま

※平成25年度県民企画応援事業は
追加募集を行っています。

対象となる事業のテーマ・内容

- 1 災害と男女共同参画
- 2 女性や子どもへの暴力・虐待・差別防止
- 3 男性の家庭・地域活動への参加
- 4 女性のエンパワメント
- 5 性に関わる健康や権利
- 6 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)
- 7 国際社会と男女共同参画
- 8 その他男女共同参画に関するもの。

▶詳しくは、事業課までお問い合わせください。

TEL 0243-23-8304

▶または、HPをご覧ください。

<http://www.f-miraikan.or.jp>

図書室より おすすめの本

～県民企画応援事業関連本～

センター図書室より“前向きに生きるヒントになる本”をご紹介します！
図書室では、現在約4万点の資料を所蔵しており、貸出も行っております。
毎月の特集コーナーなどの企画展示では注目の本を
随時ご紹介しておりますので、ぜひご利用ください。



『ゲイのボクから伝えたい
「好き」の？がわかる本
みんなが知らないLGBT』

【分類 2109/7】

石川大我/著
(太郎次郎社エディタス 2010年)

本書によると、同性を好きになる人は20～33人に1人、つまり、学校のクラスに1人はいると考えてもおかしくないそう。見た目では誰か分からないからその言動が時に誰かを傷付けていることもあるのでは。LGBTって何？家族や友達、あるいは自分はLGBTなのか？などなど「？」を抱えるあなた。まずは、「知る」ことから始めましょう。

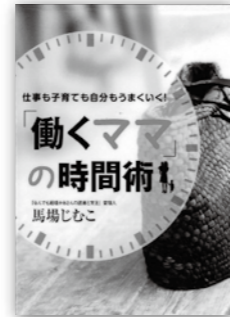


『避難する権利、
それぞれの選択
被曝の時代を生きる』

【分類 5201/1】

河崎健一郎 ほか/著
(岩波書店 2012年)

本書では、避難するか否かの選択をするために必要な情報を受け取ることで、避難を選択した時に経済的・社会的支援を受けることを「避難する権利」として提起しています。震災から2年以上経った今でも、避難したこと・しなかったことに迷いながら生活している人々がいます。人権が危機に晒されている、そんな現状と根拠強く向き合うための一助となる本です。



『仕事も子育ても
自分もうまくいく！
「働くママ」の時間術』

【分類 2202/1】

馬場じむこ/著
(日本実業出版社 2012年)

「ワークライフバランスの実現を！」とはよく言うものの、実際その均衡を図ることは本当に大変です。特に働くママは身に染みて思うのではないでしょうか？「無理なく物事をうまく運べるようになりたい…けれど実際は毎日がいっぱい…」そんな焦りや不安を抱えている方に、とっておきの時間術を紹介します！



『ストップ！デートDV
防止のための
恋愛基礎レッスン』

【分類 1501/1】

伊田広行/著
(解放出版社 2011年)

DV(デートDV)とはなにか？という基本的なことから、DVに対する恋愛論の具体的な説明や、実際の事件を題材にして語るなど、誰にでも解り易く丁寧に解説されています。誰もが被害者(もしくは加害者)になってしまう可能性が少なからずあるのがDVです。男女が日々どのような心掛けで生活していけば良いのか、まず知ることが防止への第一歩だと著者は訴えています。

■受講者募集しています。

平成25年度「福島県男女共生センター未来塾」女子“防災”カUPセミナー

8/3(土)	10:00～10:50	講話	「福島県の防災・復興と男女共同参画の状況」 宍戸 志津子さん 福島県青少年・男女共生課長
	11:00～12:00	講話	「危機管理と自主防災組織の必要性」 菅野 幸治さん 福島県災害対策課 防災専門監
	13:00～14:30	講義	「多様な視点で考える減災・防災・復興」 相川 康子さん ((特活)NPO政策研究所専務理事)
	14:40～15:40	講義	「“セクシュアル・マイノリティ”が被災するということ」 山下 梓さん (岩手レインボー・ネットワーク)
8/31(土)	～女性限定～ 10:00～15:00	講義&ワーク	「自己尊重・自己主張トレーニング いざという時にこそ“ガマン”しない女子でいよう!!」 丹羽 麻子さん (NPO法人日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー)
9/28(土)	10:00～15:00	講義&ワーク	「災害時の情報と記録」 藍原 寛子さん (フリーランス・ジャーナリスト)
10/26(土)	10:00～15:00	ワーク	「シミュレーション～未来館が避難所になったら？」
10/27(日)	10:00～14:00	ジョブ	北村 育美さん (富岡町社会福祉協議会おだがいさまセンター)

【受講料】無料 【定員】20名(申込先着順 ※定員になり次第締切) 【対象】福島県内在住、在勤、在学の女性

原則として、3日間以上参加できる女性優先。8/31以外は、男性も聴講可。10/26・27は、2日間参加できる方。

★お問い合わせは事業課 TEL 0243-23-8304まで。★申込書はホームページよりダウンロードできます。[http://www.f-miraikan.or.jp]

県外避難者支援団体紹介

青森県男女共同参画センター(アピオあおもり)

東日本大震災後約2年が経過しましたが、福島県外への避難者は全国に約54,000人(平成25年6月現在)と多くの方が避難をしています。そのようななか、避難先で様々な支援をしていただいております。本当にありがたく、感謝申し上げます。その中から、今回は青森県男女共同参画センター(アピオあおもり)で、避難している福島県民に寄り添った支援について、副館長の小山内さんにご紹介いただきます。

平成24年度、福島県から青森県に避難して来ている方々を対象に「放射線勉強会&カタリバ」を3回、「おしゃべりカフェ」を1回開催しました。

「放射線勉強会&カタリバ」では、放射線の知識や情報、放射能ホットスポット、また低線量被曝等について学習し、後半のカタリバでは参加者同士の情報の共有と語り合いの場としました。第1回目のカタリバでは「今、当時を思い起こせば、何を一番知りたかったか」をテーマに実施。参加者の一人一人が震災発災時、自分がどこにいたかを地図で説明し、その後の様子などについてこころを開いてお話していただき、話す側も聞く側も涙を流しながら共有・共感の場となりました。子どもを守るため必死になって避難した方。すぐに避難しなかったことで子どものことを考え自分を責めている方。避難する、しないでおこる家族間の確執など。母親、妻、嫁としての役割で悩み苦しんでいる様子が窺えました。

第2回目のカタリバでは、「福島県に戻りたい。しかし福島県内の情報が少ない」「震災後に福島県民が全国各地に避難しているが、避難者はどうしているのか。様子を知りたい」「県内にいる人との意識の乖離がある」という声も上がり、急遽、1月に福島県郡山市で「女性のための電話相談ふくしま」の対応をしているウィメンズスペース



第2回カタリバ

ふくしま副代表理事の丹羽麻子さんをお招きして「しゃべり場」を実施。福島県の様子などを伺いました。

第3回目は避難者の方々が自分自身のこれからを考える機会にし、「自分が癒されていること」「将来の夢や今後考えられる



第3回カタリバ「私の絵本づくり」

選択肢」を書き出し『わたしの絵本』を作り発表し合いました。ホワイトボードいっぱいみなさんの希望が書き込まれ、最後には、また次回集まることを約束して盛り上がりつつ終了しました。

青森県内には500人以上の福島からの避難者の方が生活しています(H25年4月現在)。震災から2年半近く。青森に身寄りがない(いても気持ちを理解してもらえない)。だからこそ、「人と人との心地よいつながり」が大切であり、それがエンパワーメントの原動力となっているように感じます。私たちは男女共同参画センターとして、避難者の方に寄り添いながら、「皆さんが抱えている問題は個人の問題ではなく、社会の問題である」ことに気づきかけと、つながる場づくりをしていければと思っています。

そして、放射線勉強会講師の弘前大学の鶴見教授の人間味溢れる姿勢に助けられました。男女共同参画への理解も深く、カタリバにも同席いただき、放射能に関する個々の不安への回答のみならず、傾聴と共感の中で、一人の人間として話を受け止めてくださったことがとても深みのある「カタリバ」につながったと感謝しています。

平成25年度は4月には「放射能測定器の見学&(待望の)交流会」、6月には「自尊感情・自己主張トレーニング」の学びの場を実施しました。

また、今後は自立支援として「ビジネスマナー講座」や「手作り小物の物販支援」等を福島県からの被災者の皆さんと一緒に考えながら実施する予定です。

宿 泊 室 利 用 の ご 案 内

当センターは研修室のほか、どなたでもご利用いただける宿泊室を低料金で準備しております。
出張や観光目的でもご利用いただけますので、皆様のご利用をお待ちしております。
なお、男女共同参画目的で宿泊される場合は、通常料金の半額となります。



原子力災害避難者等の方を対象に次の事業を実施しております。

「半額」で宿泊できます!

対象

次の市町村に居住、または他の区域に避難している団体・個人の方。

- 田村市、● 南相馬市、● 川俣町、● 広野町、● 楢葉町、
- 富岡町、● 川内村、● 大熊町、● 双葉町、● 浪江町、
- 葛尾村、● 飯館村

宿泊目的

地域コミュニティ活動、家族や友人との交流など

宿泊料金

- 1人で宿泊する場合
……………1泊**2,100**円(通常4,200円)
- 2人以上で宿泊する場合
……………1人1泊**1,900**円(通常3,800円)

研修室の使用料が免除されます!

使用目的

- (1) 市町村が主催する復興・復旧のための会議
 - (2) 市町村が主催する市町村政懇談会、意見交換会等の行事
 - (3) 市町村が実施する住民健康診断等の住民向けの事務事業
 - (4) 住民自治会又は町村会が主催するコミュニティの形成・維持のための会議
 - (5) 住民自治会、NPO又はその他の団体が主催する復興・復旧に向けた住民向けの説明会、研修会、座談会、講演会等の行事
- ※いずれも利益を上げない場合に限りです。

■詳しくは当センターにお問い合わせください。

企画調査課 電話 **0243-23-8303**

mi rai kan
未 来 館
ニ ュ ー ス

福島県男女共生センター広報誌

2013.7 vol.47

■編集・発行

(公財) 福島県青少年育成・男女共生推進機構 福島県男女共生センター (女と男の未来館)

〒964-0904 福島県二本松市郭内一丁目196-1

TEL(0243)23-8301(代) FAX(0243)23-8314

ホームページアドレス <http://www.f-miraikan.or.jp>

メールアドレス mirai@f-miraikan.or.jp

女と男の未来館

検索